

(有) S P 建材

ステンレスでベンチ製作

SP 建材が北陸初 建築用金属を応用

SP 建材(福井市田尻栃谷町38-36-60、高島弘茂代表取締役)は、風雨に耐える抜群の防錆性をそなえたステンレス製のベンチを

商品開発し、今後とくに塩害が厳しい海沿い公園での設置など販路拡大を目指す方針だ。11日の福井商工会議所新商品・新サービス



福井商工会議所の発表会で=11日

合同プレス発表会においてアピールした。ステンレス製ベンチは県内は言うに及ばず全国的にも前例のない画期的な新商品という。同社は、建築用金属製品製造工業と建具工業を主に、アルミ製のグラウンド整地用のトンボなども独自開発。今回はその加工技術を応用し、さらに高度な技術が求められるステンレス加工に成功。座面には人工木材

(廃木と廃プラ)を使用し、脚はステンレス材と組み合わせた。その結果、耐久性は従来ベンチの約3倍にも高まり、耐候性にも優れ、高級ステンレス材を使用しても同社の仕入れルートを生かして低価格を実現。仕様は全長180センチ、全高73・5センチ、幅(座面奥行)34センチ。高島代表は「最初は背もたれのない平たい座面だけのベンチを製作したが予想以上に好評を得、新商品を開発した」と経緯を紹介し「今後は福井市や坂井市など公共施設の採用を働きかけたい」などと意欲的に話した。